岡山の大学へ行こう

vol.3 活躍する卒業生

岡山県内の大学・短大の魅力を紹介する「岡山の大学へ行こう」3回シリーズの最後は、県内外で就職し、活躍している卒業生が登場します。仕事のやりがいや夢をかなえるために選んだ大学・短大で学んだ内容、学生生活で印象に残っていることなどを聞きました。

川崎医療福祉大学・川崎医療短期大学

川崎医療短期大学 医療介護福祉科(2019年度卒業)
〈現 医療介護福祉学科〉

竹林 博美さん

川崎医科大学附属病院 リハビリテーション病棟

充実した実習で実践力を養う

「人の役に立つ仕事がしたい」と漠然と考えていた高校時代。2歳上の姉が川崎医療短期大学で介護福祉士を目指していたこともあって、同じ道に進みました。

本学は専門的な介護知識・技術の習得、福祉施設での実習など豊富なカリキュラムが魅力。特別養護老人ホームの実習では、入所者とのコミュニケーションに悩むこともありましたが、一緒に時間を過ごすことで心が通じ、やりがいを実感しました。

2021年からは3年制となり、病院実習など医療の知識と実践力を培う教育内容がさらに充実。また、22年に倉敷市から岡山市中心部へ移転し、学びの環境がより一層整備されました。

現在はリハビリテーション病棟で脳梗塞や交通事故によるけがなど、さまざまな疾患を抱える患者さんの自立支援に向けた介助などを担当。入院時に歩くことができなかった患者さんが元気に歩いて退院する姿を見ると喜びを感じます。本学科独自の病院実習にも携っており、学生の学びがより深まるような指導を心がけています。

友人と真剣に医療的ケアを練習する竹林さん(手前)

患者の思いに寄り添う介護福祉士へ

チーム医療の一員として、医療的知識、技術などをさらにレベルアップさせていくことが今後の目標。同時に患者さんの思いやちょっとした変化に気づき「相談しやすい」と思われる医療に強い介護福祉士になりたいと思っています。

自立支援に向けての介助業務に取り組む竹林さん

〒701—0193
倉敷市松島288 川崎学園アドミッションセンター
☎(086)464—1064

〒700—0821
岡山市北区中山下2—1—70 川崎医療短期大学
☎(086)201—5333